

平成 年 月 日

日本学術会議会長 殿

科学と社会委員会 政府・産業界連携分科会委員長 山極壽一

日本学術会議主催学術フォーラム企画案募集について（回答）

平成30年12月20日付府日学第2020号をもって依頼のありました標記について、下記のとおり回答します。

記

- 1 フォーラムのテーマ 産学共創の視点から見た大学のあり方
- 2 企画趣旨 現在、政府の様々な委員会で大学改革の具体的な計画が審議され、大学のあり方が問われている。ここでは、世界の動向を見据えた上で、日本の強みを発揮できる新たな方針を立てることが急務である。政府・産業界連携分科会はその緊急性を考慮して、大学と産業界両方の関係者が対等に議論し、近未来へ向けて双方が納得し推進できる提言を発することを試みた。この提言をもとに、より広い産学関係者がそれぞれ講演をし、その講演をもとにこれからの大学のあり方について議論する。
- 3 希望開催時期 平成31年 5 月頃
- 4 コーディネーター 渡辺美代子
- 5 演題・演者等（予定、交渉中のものも含む。）
「これからの大学～国立大学の視点」 五神 真（東京大学総長）（予定）
「これからの大学～地方国立大学の視点」（未定）
「これからの大学～私立大学の視点」（未定）
「産業界から大学への期待Ⅰ」 五十嵐 仁一（経団連未来産業・技術委員会

産学官連携推進部会長、 JXTG エネルギー株式会社取締役常務執行役員)
「大学発ベンチャーによるイノベーション創出」 (未定)
「国立研究開発法人から大学への期待」 (未定)
「財団から大学への期待」 (未定)
「若手から見たこれからの大学」 (未定)
「ベンチャー企業から見たこれからの大学」 (未定)

6 その他希望事項（開催場所等） 日本学術会議講堂

- 注) 1 企画案の提出に当たっては、上記 1～6 の項目をできるだけ詳細に記入してください。特に講演を企画するに至った企画趣旨は必ず記入してください。
記入漏れのある場合は、書類不備扱いとなり、審議されない場合があります。
- 2 演題・演者が未定の場合には、分野だけでも記入してください。